

伶倫樂遊

伶樂舎雅楽コンサート no.37
REIGAKUSHA Gagaku Concert no.37

芝祐靖作品演奏会 その3
Works by Sukeyasu Shiba no.3

芝祐靖作曲 ^{しょうふうらく} **松風楽** (管絃 1988年作曲)

芝祐靖作曲 ^{りょう} **愣** (箏獨奏 1988年作曲)

芝祐靖作曲 **横笛三章** (横笛四重奏 1970年作曲)

声明 ^{さんじゅうにそう} **三十二相と雅楽** ^{さんぎんちようぎゆうらく} **散吟打毬楽**
(近藤静乃構成) (芝祐靖復曲・補曲2010年)

三十二相 本曲・散吟打毬楽 破
三十二相 急曲・散吟打毬楽 急

2021 5 | 17 (月) 18:30開演 (17:45開場)

なかのZERO小ホール JR又は東京メトロ東西線
「中野」駅南口から徒歩8分

チケット 前売3,000円 当日3,500円 (全席自由席)

チケット発売開始: 3月15日(月)

- 伶楽舎 (枚数・氏名・電話・ファクス番号を明記ください。後ほど確認のご連絡を致します。)
FAX 03-5269-2011 (伶楽舎) *ファクスのみの取り扱い(5/16 17:00まで)
Eメール ticket0514@reigakusha.com (5/15 17:00まで)
- 東京コンサーツ <http://www.tokyo-concerts.co.jp/> (5/14まで)
TEL: 03-3200-9755 (平日11:00~16:00 5/14まで)
- e+(イープラス) <http://eee.eplus.co.jp>

ご来場にあたっては、新型コロナウイルス感染症予防対策へのご理解とご協力をお願いいたします。チケットは半数販売としておりますが、今後の状況に応じて追加販売することがございます。何卒ご了承ください。



助成: 芸術文化振興基金



公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



NOMURA 野村財団

客演(声明): 海老原廣伸、七聲会

企画・主催: 伶楽舎



我國... 方衆生... 迴向... 國不果... 者不... 我國... 方衆生... 迴向... 國不果... 者不...



芝 祐靖 (しばすけやす)

1935年、800年余り続く奈良系の伶人の家に生まれ、1984年まで宮内庁楽師をつとめた後、龍笛演奏を中心としたソロ活動に入る。1985年伶楽舎を創立し音楽監督となる。古典雅楽の演奏のほか、現代雅楽、現代邦楽の作曲・演奏を行い、雅楽廃絶曲の復曲も手掛ける。国立劇場の正倉院収蔵楽器復元に参加し、敦煌琵琶譜などの復興にも携わる。ソロ、伶楽舎ほかのアンサンブルで海外公演も多数行う。広く雅楽に親んでもらえるよう、語り入りの子どものための雅楽作品を創作、自ら学校などでの演奏活動に多く参加した。2010年にはニューヨークとワシントンで「芝祐靖・雅楽の宇宙」公演が行われ、絶賛を博した。2003年より日本芸術院会員、2009年旭日中綬章、2011年文化功労者、2017年文化勲章、他多数受賞。2019年7月永眠。

芝祐靖作品演奏会、3回目の今回は、これまで伶楽舎では演奏したことのない作品を集めてお聞きいただきます。第一部では、古典様式の管絃曲「松風楽」、箏の表現力を生かした箏独奏曲「愕」、および「横笛三章」は「龍笛の章、能管の章、篠笛の章」の三楽章から成る作品で、初演時はそれぞれの横笛を入れて演奏されていますが、今回は龍笛4人用に改定されたバージョンでの演奏です。第二部は声明「三十二相」と雅楽「散吟打毬楽」です。声明「三十二相」は仏のそなえる32の瑞相(身体的特徴)をほめたたえる声明で、古くより雅楽「散吟打毬楽」と合奏されることが知られてきました。「散吟打毬楽」は明治撰定譜に収録されなかったため廃絶曲となっていました。今回は芝祐靖が復曲した「散吟打毬楽」(延只八拍子)を「破」として「三十二相本曲」と合わせ、さらにその旋律を用いて補曲された「急」(早八拍子)を「三十二相急曲」に合わせて演奏いたします。声明と雅楽が付かず離れず異なる旋律を奏でる、この曲ならではの響きをお聞きください。

客演 海老原廣伸 (えびはらこうしん)

天台声明を比叡山坊城道澄師、中山玄雄師に師事。国内外での声明公演に多数出演。現代声明と言われる演奏曲は欧州中心に公演。中尊寺に於ける如意輪講式の復元や法要に参加する等声明と現代音楽の発展融合に協力。「天台声明の可能性」を限定出版。千葉県市川市・天台宗泉養寺前住職。

客演 天台聲明 七聲會 (しちせいかい)

古典伝統法儀「天台聲明」の研鑽・敷衍を目的に発足した会で、会名の「七聲會」は聲明楽理の五音七聲十二律に基づいている。天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究部として国立劇場法要出仕などを通じ古典聲明を伝承・紹介するのみならず、宗派を超えて結成された「声明の会・千年の聲」として声明と現代音楽の融合作品についても積極的な協力活動を行い、国内外での公演や音大でのレクチャー講演など、各種の活動を展開している。

七聲會：海老原廣伸、平田真紹、室生述成、末廣正栄、鈴木亮仁、豊田良栄、御園生亮澄、雨宮亮祐

伶楽舎 (れいがくしゃ)

1985年に発足した雅楽演奏グループ。創立者・芝祐靖。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、これまでに湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、猿谷紀郎、伊左治直など様々な作曲家に新作を委嘱。武満徹「秋庭歌一具」の演奏で2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞、2020年第50回ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。他に解説や体験を交えた親しみやすいコンサート、学校での公演なども多く行い、雅楽への理解と普及に努めている。

伊崎善之、石川高、岩亀裕子、北村茉莉子、國本淑恵、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、野護元、鈴木絵理、田口和美、武智和子、田島和枝、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、八百谷啓、八木千暁、荒川明英、中村かほる、本橋文



一般社団法人 伶楽舎

〒160-0012 新宿区南元町19-2千日谷会室内
tel&fax: 03-5269-2011 <http://www.reigakusha.com>
<https://www.facebook.com/reigakusha>